令和５年度　野沢温泉中学校グランドデザイン

生徒を取り巻く環境

○スキーと温泉の恵みを生かした観光立村　○保護者・村民の学校教育に対する期待・協力姿勢
○「ふるさと野沢温泉村を誇りに思える村づくり」を掲げる勤勉で純真な村民
○観光客、インバウンドが戻り始めた
●スキー人口減少による観光立村としての変化
●一村一幼保・小・中学校による友だちの固定概念

本校生徒の実態・意識（令和４年度学校評価、生徒アンケート等より）

○素直で誠実な生徒が多く、落ち着いた学校生活を送っている　○９割の生徒が学校生活は楽しいと回答
○授業中疑問に思ったことを質問できる生徒が増えてきている　○自ら挨拶する生徒が増えてきた
●基礎学力の定着に課題をもつ生徒が見られる　●時間にルーズな生徒が見られる
●メディア接触（テレビやネット、ゲーム等）時間が多く、家庭学習時間が不足している

県教委基本方針

一人の子供も取り残されない「多様性を包み込む」学びの推進
1) 探究する授業
2) 共創する教育課程
3) つながる学校

学園教育目標

「ふるさと野沢温泉村を心に刻み
心を世界に拓き　心豊かな人間性を育む教育」

学校教育目標

「心で聴き　心で観る」
・知性を磨き　・心身を鍛え　・品性を高める

願う生徒像と育みたい資質能力

【中学校で願う生徒像】
情操の深まりから自然や人の生き方に心を動かし、
友と共に深く学び、夢や希望をふくらませていく子ども

【小学校中高学年】
物や事に触れて、興味・関心を呼びおこし、自ら追究し友と共に学ぶ楽しさや喜びを見出していける子ども

【保育園、小学校低学年】
豊かな自然の中で好んで体を動かし、友だちを呼び込んで遊びをつくり，学びを楽しんでいる子ども

◆自分や他者を大切にする力　◆自分の考えを持つ力
◆自分を表現する力　◆繰り返しチャレンジする力

教育内容の質の向上に向けて、子どもたちの姿や言葉、保護者・村民の皆さんからのご意見要望（学校評価）をいただきながら、教育内容を見直し改善を図る。

柱１）主体的・対話的で深い学びによる「授業改善と学力向上」に取り組みます

学力向上のための４本柱

1 達成感の持てる授業の実践
○ねらい・めりはり・見とどけの充実
・課題設定の研究、つける力の明確化
・「学び合い学習」の研究
2 「学習する子どもの視点」にたっての授業改善
○信州型ユニバーサルデザインの研修
・信州型 UD カードを使っての授業振り返り
○模擬授業を通しての授業研究
3 着実な学力定着のための実践
○タブレットを使ったドリル学習
・１人１台タブレットを使用し、自分のペースで個別学習ドリルを進める（個別最適化の支援）
○ぶなの子タイムの取組
・水曜日５校時終了後　14：40～15：10 の時間、ｅライブラリ等に取り組む。
○ベネッセ実力診断テストでの検証
・診断結果から自身の課題について理解し、対策を打ちながら学力の一層の向上を目指す
4 充実した家庭学習を目指して
○授業と連動した家庭学習の充実

柱２）村の特長を活かした「魅力的な学校」を創ります

野沢温泉学園幼保小中一貫教育・高校連携教育

1 幼保小中全職員で構成される「英語学習」と「ふるさと学習」を核とした一貫教育の推進
・英語学習
…外国人観光客増加の中、豊かな国際感覚の育成と英語表現力の向上を目指す
・ふるさと学習
…豊かな自然や文化、産業、地域の人々からふるさとを学び、愛する心を育てる
2 一貫教育のよさを活かした教育活動
・スキー科授業
・生徒会と児童会・こども園との交流活動
・各校園への着実な移行を目指すジョイント期交流活動
3 学園職員会議での共通理解
4 学園授業研究会（年２回）
5 読書活動の充実
6 学園地域支援センターの活用（キャリア教育の充実）
7 飯山高との連携（英語教育連携・職員による授業参観と合同教科会の実施・中学生が SSH 課題研究発表会参観）
8 下高井農林高との連携（中学生が課題研究発表会参観）

柱３）生徒、地域とともに「楽しい学校」を創ります

居場所があり、笑顔があふれる学校

1 人権教育・特別支援教育の充実
・全職員共通理解に基づく指導の充実
・授業、教室環境のユニバーサルデザイン化
2 生徒会活動への支援
・生徒自らが据えるスローガンを職員と共有し、共に歩む生徒会の実現
3 部活動への支援
・豊かな人間関係、人格形成を目指し、外部指導者、部活動指導員を置き、さらに地域一体となった活動と職員の働き方改革を目指す
4 「生徒一人一人を、職員みんなで見守り成長を見とどける」生徒指導
・アセスを活用した支援の充実
・教育相談等を通した生徒理解と支援
5 幼少期からの継続した見守りと支援
・フォロー会議（年２回）を行いながら家庭児童相談員を中心にしての継続した見守りと支援
・ぶなの森（サテライト教室）の充実
6 健康的な生活習慣の確立
・生徒会や保護者と連携した取組の充実
7 保護者、野沢温泉学園運営協議会との連携
・交流学習、ふるさと学習、キャリア教育、PTA 活動等への協力を通した一体感の醸成

＊【いじめ・体罰・セクハラ・パワハラ相談窓口】について
学級担任等以外にも、校長、教頭、養護教諭が窓口になっています。いつでも気軽に相談してください。